



No.24 2019.11.25

明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

山口県に学ぶNo.2

社会に開く 学びが変わる

山口県の平成31年度教育の指針の中でコミュニティ・スクールの取組が次のように評価されています。“本県においては、全計画期間における、コミュニティ・スクールが核となり、社会総がかりで子どもたちの学びや育ちを支える「やまぐち型地域連携教育」の推進により、子どもたち自己肯定感・自己有用感の高まりや、地域の行事やボランティア活動への積極的な参加などの効果が見られるほか、人の役に立つ人間になりたい、自分にはよいところがあると考えながら生活を送っている子どもたちの割合は、全国の状況と比べ望ましい傾向にあります。また、学力についても向上・改善傾向にあり、これらは、本県の子どもたちのよさと考えられます。”とコミュニティ・スクールの推進の中で子どもたちの成長が評価されています。また『奇跡の学校』の中でも、コミュニティ・スクール実感した教員の次のような言葉がのっています。

- 「学力を保证する営みとして知識を身に付けることに的を絞ってきたことが、40年間の荒れの原因の一つであったのかもしれない。」
- 「子どもたちが地域から支えられているなど強く感じるようになった」
- 「同じように授業をしても単に教科の学力向上や理解の深化だけに向き合うのではない。子どもたちの向こうにある地域をどう繋いでいくかを意識するから授業に丁寧に大切に向き合うようになった。」
- 「学校が地域から信頼されている実感があるから授業をおろそかにできない」

コミュニティ・スクールが定着する中で、子どもたちがたくさん大人と出会い、声をかけられ、励まされ、褒められることで自己有用感、自己肯定感、自己効力感の高まりが子どもたちを成長させる原動力になったのではと思います。また、コミュニティ・スクールの取組の中で教員が社会に開くことの意義を実感できたからこそ学校を変えることができたのではと思います。

「社会に開かれた教育課程」と「個別最適化」が次期学習指導要領のキーワードになっています。次期学習指導要領が始まるにあたって「社会に開かれた教育課程とは?」、「個別最適化って?」といった議論を始めていくのがコミュニティ・スクールの理解につながっていくと思っています。

学校を開く ～生涯学習の拠点～

モデル校としてコミュニティ・スクールに取り組む中で、学校の支援をしてもらう仕組みをつくるのがコミュニティ・スクールではない、コミュニティ・スクールは人が集まり、つながっていく仕組みづくりであり、子どもも大人も学び共に成長する仕組みづくりではと考えていながら、それでいいのかなといろいろと迷う時期がありました。そんな時、小西先生から「コミュニティ・スクールは生涯学習につながっていく」というお話を聞き、今までもやもやとしていたコミュニティ・スクールの霧がパーと晴れたのを覚えています。

モデル校として取組始めていた「大人も楽しむ学習広場」も「これって学校がすること」という思いも自分の中にありました。また地域の人と話をする中で、「学校は毎日みているけど中には入りにくい」ということを耳にしたり、教室に来られた方が「〇〇さん久しぶり」と再会を喜ばれる様子や、教室を

楽しみにされている様子を見たりする中でどうなのだろうという迷いがありましたが、学校を地域に開く仕組の一つなのだとして自分の中で納得できたのがその時でした。学校を大人の学びの場としていくことは子どもたちにとっても学ぶ刺激になっていくと思っています。コミュニティ・スクールは子どもの学びだけではなく、大人も学び続ける生涯学習につながっています。

山口県には大人の学び場としての大人向けの教室だけでなく、子どもも大人も共に学ぶ地域参加型の授業が行われている学校があります。子どもと机を並べて、筆を持つ習字の授業、子どもと一緒に話し合う道徳の授業、子どもと一緒に実習する家庭科、技術の授業・・・。参加される地域の方の生きがいとなっている日常の光景に、「えっ」と思われるかもしれません。答えのない、納得解を創りだしていく力を培っていくためにはそうした開かれた学びの場がこれからは必要になってくるのではと思います。これまでゲストティーチャーとして保護者の方や地域の方が授業に入っていたことはありましたが、これからは子どもたちと机を並べて共に学ぶ学習者として授業に参加するあり方もあるのではと思います。

コミュニティ・スクールと授業は一見関係ないように思えますが、「開く」というキーワードでコミュニティ・スクールを考えていくと、様々なところで授業の仕組、学校の仕組と関係してくるのが見えてきます。

地域参加型の授業（参照：小西先生資料より）

●地域の方のアンケートから

4年生「道徳」

- ・大人も、もっと発言する場面があったらよいと思います。
- ・子供達と一緒に考えて考える機会はなかなかなく、自分の勉強になった。
- ・いっしょに話はできましたが、話をまとめてあげることはできませんでした。

5年生「習字」

- ・何十年ぶりに筆を使うことができよかったです。
- ・子供達から教えてもらうことも多く楽しい授業でした。
- ・十数年ぶりに筆を握りました。子供達が私の字を見て「上手」と言ってくれました。



【コミスク紹介の動画です】

コミュニティ・スクールの取組紹介山口県光市浅江中学校
YouTube 「イキイキ！山口」 平成 28 年 1 月 11 日放送
「「コミュニティ・スクール」って知っちゃう？」

<https://www.youtube.com/watch?v=MFJ5Zb217uA>

検索：山口 浅江中 コミュニティ・スクール

お知らせ

コミュニティ・スクール自主勉強会



社会に開き、社会とつながるコミュニティ・スクール自主勉強会
社会に開き、社会とつながるコミュニティ・スクールに向け一緒に勉強をはじめませんか
2020年1月14日スタート予定
①日時 月1～2回火曜日 18:30～19:30
②場所 分庁舎5F 教育委員会室
③対象 教職員

コミュニティ・スクール自主研修会（予告）



苦野一徳先生と共に考える
これからの学校づくり・地域づくり
①日時 2020年2月14日
17:00～18:30（予定）
②場所 商工会議所8階ホール
③対象 教職員＆一般市民
詳しくは後日